

第2章 単位と卒業要件

1. 単位の計算方法

授業科目には単位数が定められています。

単位とは、科目を修得するために必要な学修量（時間）を数値で表したもので、1単位は、履修登録を行い、大学における15時間の講義に加えて30時間の予習・復習からなる自主学習が伴った45時間の学修を行った上で、さらに当該授業科目の行うべき授業回数の7割以上出席（端数切上げ）し、試験その他の方法により成績評価が合格と判定されることで得られるものです。

授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。ただし、単位を計算する上での1時間は45分とし、授業時間割上の1時限は2時間（90分）としています。

授業科目の講義、演習、実験、実習及び実技の単位の基準及び単位の数え方は次のとおりです。

授業種別	単位の基準	備考
講義・演習	15時間の授業をもって1単位とする。	授業科目の内容に応じ、教育効果を考慮して、30時間の授業をもって1単位とすることができる。
実験、実習及び実技	45時間の授業をもって1単位とする。	必要がある場合には、授業科目の内容及び授業の方法に応じ、教育効果を考慮して、30時間の授業をもって1単位とすることができる。 音楽の個人指導による実技の授業については、特に授業時間外に必要な学修を考慮して、10時間の授業をもって1単位とすることができる。なお、保育士資格に係る「保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ」として本学が開設する授業科目のうち実習施設における授業時間数については、40時間の授業をもって1単位とする。
講義、演習、実験、実習及び実技のうち2以上の方法により行う場合	その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準により算定した時間の授業をもって1単位とする。	—

〔授業時間と単位〕

本学では、1時限90分の授業が年30週（前期15週、後期15週）行われます。単位数は、90分（1時限）の授業時間を2時間相当の学修時間とみなし、事前・事後学習もあわせた時間で設定されています。

2単位の講義・演習科目		
事前学習 2時間	週1回授業 2時間	事後学習 2時間
授業1:自主学習2		

..... 6 (時間/週) × 15 (週間) = 2単位

1単位の実験・実習及び実技科目	
週1回授業 2時間	事前・事後学習 1時間
授業2:自主学習1	

..... 3 (時間/週) × 15 (週間) = 45時間 = 1単位

※ 連続講義科目については、上記の考え方を倍にして考えてください。

[単位の認定]

履修登録を行い、その授業科目を履修し、当該授業科目の行うべき授業回数の7割以上出席し、試験に合格(60点以上)することにより、単位が与えられます。

ただし、その授業科目が開講されている期間の学期末まで在学している必要があります。

2. 卒業要件

本学に2年以上在学し、学科が定める教育課程により学修し、科目区分毎に定められた必要単位数を含め62単位以上を修得しなければなりません。

科目区分ごとに定められる必要単位数は入学年度ごとに定められています。

入学年度ごとの必要単位数は年度毎の学則(教育課程)を確認してください。

休学の期間は在籍していても在学期間には含めません。

卒業判定は、第4セメスター生に対して行われます。

[卒業要件単位に含まれない科目]

- (1) 特別教育科目の特別単位※1については、20単位を限度として自由科目に繰り入れることができますが、直接の卒業要件単位には含まれません。
- (2) 自由科目を履修し単位修得したものについては、修得単位の中から併せて10単位までを上限として卒業要件単位に算入することができますが、10単位を超える修得単位は卒業要件単位に含まれません。

※1 特別単位…特別教育科目による特別単位、ボランティア活動、インターンシップ活動によって認定される特別単位

[卒業に必要な最低修得単位数]

卒業するためには、2年以上在学し、次の科目区分に従って、62単位以上修得しなければなりません。

【平成28・27年度入学者対象】

	必修・選択別	最低修得単位数	
教養教育科目	必修・選択 ※1	11単位以上	62単位以上
専門教育科目	選択	28単位以上	
自由科目	※2		

※1 「建学の精神」(1単位)を含まなければなりません。

- ※2 自由科目は上限 10 単位を卒業単位に算入することができます。
- ※3 単位互換協定に基づき、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜において単位を修得した場合、その単位は教養教育科目の単位として認定されます。
- ※4 本学として開催される短期留学において単位を修得した場合、該当する教養教育科目の相当単位として認定されます。

留学名	認定単位
1年留学 (48週)	英語Ⅰ (1単位) 英語Ⅱ (1単位) 人間行動と社会 (2単位) プレゼンテーション (2単位) キャリアデザインⅠ (2単位) キャリアデザインⅡ (2単位) 生きるを考える (2単位) ホスピタリティワーク (2単位) コンソーシアム共同授業 (2単位)
6ヵ月留学 (25週)	英語Ⅰ (1単位) 英語Ⅱ (1単位) 生きるを考える (2単位) ホスピタリティワーク (2単位) コンソーシアム共同授業 (2単位)
3ヶ月留学 (12週)	英語Ⅰ (1単位) 英語Ⅱ (1単位) コンソーシアム共同授業 (2単位)
夏季研修 (4週間)	英語Ⅰ (1単位) 英語Ⅱ (1単位)
治季研修 (3週間)	英語Ⅰ (1単位) 英語Ⅱ (1単位)

3. 卒業時期

卒業の時期は、後期末（3月）又は前期末（9月）です。

後期末（3月）： 後期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。

前期末（9月）： 前期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。

4. 卒業の認定

卒業要件を満たした学生は卒業が認められ、卒業証書・学位記が授与されます。卒業の認定を受けた学生には、短期大学士の学位が授与されます。

- (1) 卒業の認定は、3月上旬までに学長が行います。
- (2) 卒業者の発表は、平成 29 年 3 月 2 日（木）の午前 9 時 30 分に教務課掲示板で行われます。
- (3) 卒業が認定された学生には、保証人宛に卒業式の案内をお送りします。
- (4) 卒業が認められなかった学生には、保証人宛に卒業判定結果通知を送付します。（休学中の学生には通知しません。）
- (5) 卒業の認定結果に関する電話での問合せには、一切お答えしていません。

[卒業不認定になったら]

卒業延期の通知が届いたら、今後の履修方法について至急クラス担任に相談してください。

- (1) 卒業不認定により卒業延期になった場合は、通常どおり履修登録期間内に履修登録をし、授業に出席してください。卒業延期自体の特別な手続きはありません。
- (2) ガイダンスにも出席し新クラス担任の指導を受けてください。
- (3) 新年度前期休学を希望する場合は、至急クラス担任に連絡をとり、休学の手続きをとってください。前期に休学する学生については前期ガイダンスに出席する必要はありません。

[9月卒業]

前年度卒業延期になった学生が、前期で卒業要件を満たすことができれば9月卒業が認定されます。

- (1) 9月卒業を希望する学生は、前期で卒業要件を満たすように、履修に注意してください。
- (2) 9月卒業の可否については、学生本人が前期に履修した科目の成績を確認し、卒業要件を満たしているかを再度点検してください。
- (3) 卒業要件を満たしていることを確認できたら、教務課に申し出てください。卒業式等の詳細をお知らせします。
- (4) 所定の手続きを経て、正式に卒業の認定及び卒業式の案内を学生宛に文書で通知します。

5. 学 位

所定の期間在学し、卒業に必要な単位を修得した学生は卒業が認定され、次の学位が与えられます。

学 科	学位(専攻分野)
幼児教育学科	短期大学士（教育学）

6. 卒業の延期

卒業要件を満たす者が、引き続き在学することを希望し、卒業の延期を願い出た場合は、原則として1年間の延期を認めます。ただし、当該学期までの授業料等の納付金を完納しており、かつ引き続き在学することにより、在学期間が学則の規定する年数を超えないこととします。なお、卒業延期期間中の休学は認めません。

7. 卒業見込証明書の発行

第3・4セメスター生

【第3セメスター生発行基準（前期のみ）】

「在学期間」「卒業要件として定める教養教育課目・専門教育科目及び自由科目（10単位以内）」について、以下のすべての条件を満たした場合、申請により発行します。

- ・ 在学期間が1年（第2セメスター）を超えていること。
- ・ 教養教育課目・専門教育科目及び自由科目（10単位以内）を含めて41単位以上修得していること。
- ・ 専門教育科目を20単位以上修得していること。
- ・ 前期履修登録可能単位数と後期履修登録可能単位数とを合わせて卒業要件単位数を充足することが可能であること。

【第4セメスター生発行基準（前期・後期共通）】

「在学期間」「卒業要件として定める教養教育課目・専門教育科目及び自由科目（10単位以内）」について、以下のすべての条件を満たした場合、申請により発行します。

- ・ 在学期間が1.5年（第3セメスター）を超えていること。
- ・ 教養教育課目・専門教育科目及び自由科目（10単位以内）を含めて50単位以上修得していること。
- ・ 専門教育科目を30単位以上修得していること。
- ・ 当該学期の履修登録により卒業要件単位数を充足することが可能であること。

〈発行時期〉

卒業見込証明書は履修登録することを前提に発行します。

したがって前期、後期ともに必ず履修登録してください。

詳細な日程については掲示板で確認してください。